



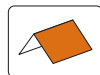
■ 工作方法

●用意するもの●

はさみ、のり、定規、ピンセット、鉛筆



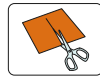
【ご注意】のりやはさみ、ピンセットなど、幼児に危険と思われる道具や材料を使用しますので、幼児の手の届かないところで作業してください。



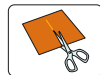
山折線（点線）
山折りしてください。



谷折線（点鎖線）
谷折りしてください。



切取線（実線）
切り取ってください。



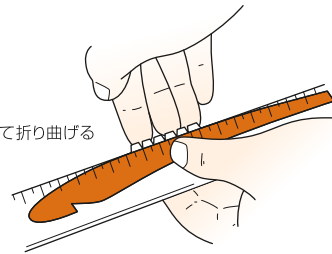
切込み線（実線）
切込みを入れてください。

■ 作り方のポイント

1. 部品は、出来るだけ曲げないように、切り取りましょう。

2.

定規をあてて折り曲げる

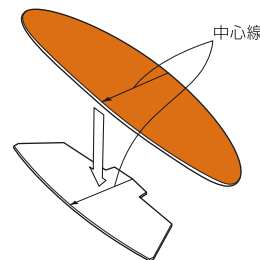


切り抜いた部品は曲がっていると飛行性能に大きく影響しますので、どの部品も平らにしてから組み合わせてください。
主翼や尾翼の取り付け部分等の折り曲げ線は、定規を使って正確に折り曲げてください。

3. 部品の組立は組立説明を見ながら、各部品の番号にしたがって重ねてください。

4. はり合わせの面には接着剤をむらなくぬって、すばやくすれないように注意してはり合わせましょう。
接着の際、紙にはさんで本などでおもしろしておく
と胴体がまっすぐに仕上がります。

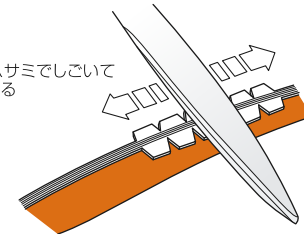
5.



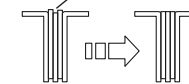
左右一体となった翼をはり合わせる場合、中心線がすれないように注意してはり合わせます。

6.

鉛筆やハサミでしごいて
平らにする



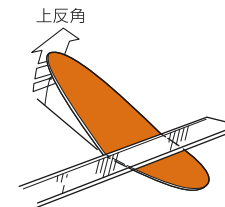
凸凹を平らにする



胴体の断面

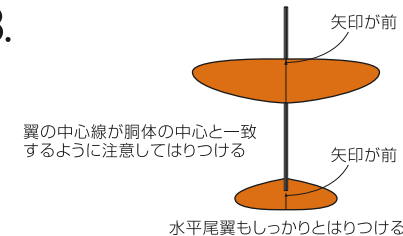
胴体に主翼をぴったり接着させるために、胴体の主翼取り付け面を鉛筆やはさみなどでしごいて平らにします。

7.



主翼に角度をつけるときには、定規を使って曲げると綺麗に曲げることが出来ます。
(曲げる角度は組立説明図をご覧ください。)

8.



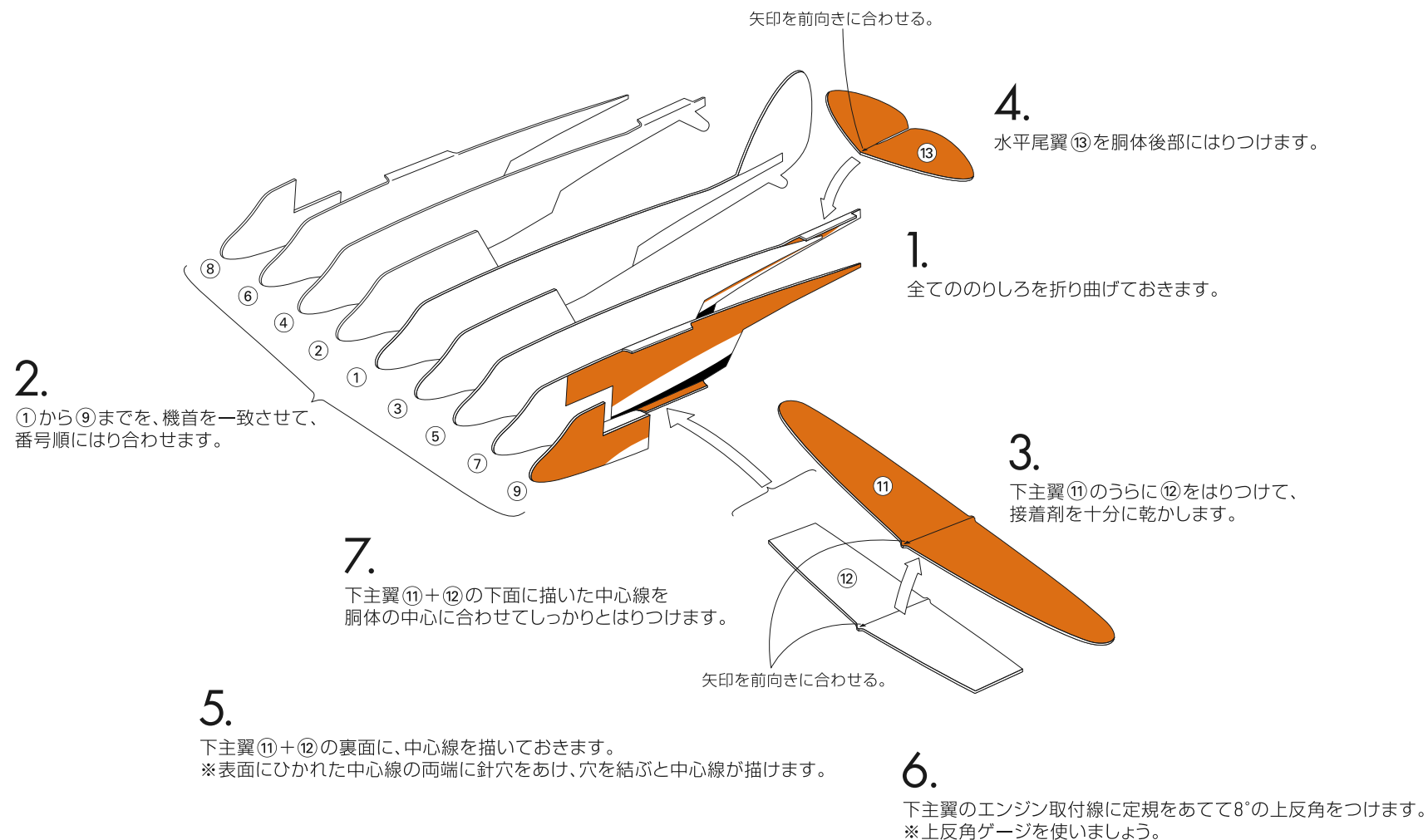
翼の中心線が胴体の中心と一致するように注意してはりつける

水平尾翼もしっかりとはりつける

主翼と水平尾翼はその中心線が、はり合わせた胴体の中心と一致するようしっかりとはり付けましょう。

はり合わせ

1、2…の番号にしたがって順序よく作ります。



12.

上主翼⑩の中心線に定規をあてて、少し(約5°)の上反角をつけます。

11.

翼支柱 ⑳+㉑、㉒+㉓をそれぞれ
下主翼のわくの中にはりつけます。
(上端が少し前に傾く方向にはります。)

8.

エンジン部品ののりしろを折り曲げます。
つぎに⑭～⑯、⑰～⑲をはり合わせて
エンジンを作ります。

14.

機体を前から見て胴体の垂直面と支柱とが平行になるようにしてから、支柱の上端を上主翼の下面にはりつけます。

13.

上主翼⑩を胴体の上にはりつけます。
※上主翼と左・右の支柱の上端とはまだはり合わせないこと。
このとき、上下の主翼が平行にとりつけられるように、
上下・前後から見て、よく確かめます。

10.

翼支柱の上下ののりしろを折ります。
つぎに⑳と㉑、㉒と㉓をそれぞれはり合わせます。

仕上げ

15. からの仕上げは、
接着剤が十分に乾いてからしましょう。

15.

上・下の主翼面を指でわずかにわん曲させます。

16.

下主翼にゲージをあてて、上反角 8° を確かめます。

17.

機体を手を持ち、まっすぐ前から見て、
また後ろからも見て、胴体や翼のねじれ、
曲がり方をいねいに直します。

9.

エンジンを下主翼の左、右のエンジン取付線に合わせて下面にはりつけます。

上反角